

働く世代への働きかけについて

目的 千葉県の重点課題である働く世代の健康づくりに向けて、従業員の健康づくりに取り組む事業所や企業等を増やす「健康な職場づくり」を推進することで、働く世代の健康課題の改善を図り、健康ちば21（第2次）の総合目標である「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」の達成を目指す。

背景 千葉県では、全国同様、死因別死亡割合における生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡割合が5割を超え、生活習慣病による死亡や治療が40代から増加している。健康ちば21（第2次）の中間評価では、働く世代の食生活・運動・休養等の生活習慣に関する課題がみられた。
個人の健康は家庭・職場・地域等の社会的環境の影響を受けることから、多くの時間を職場で過ごす働く世代の健康づくりを推進していくためには、従業員の健康づくりに取り組む事業所や企業等を増やす環境の整備を図っていく必要がある。

健康課題

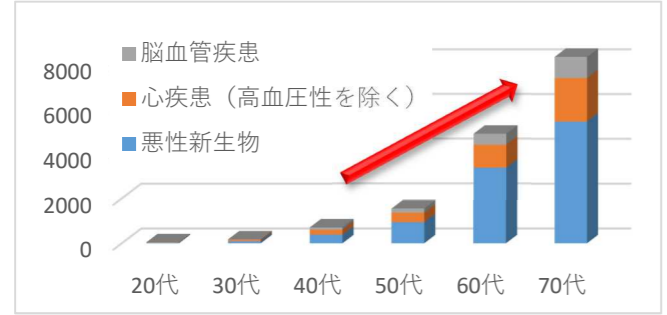
○生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡割合が5割を越える

表1 死因別死亡割合（生活習慣病） 単位:%

	千葉県	全国
悪性新生物	29.8	28.5
心疾患	17.1	15.1
脳血管疾患	8.1	8.4
合計	55.0	52.0

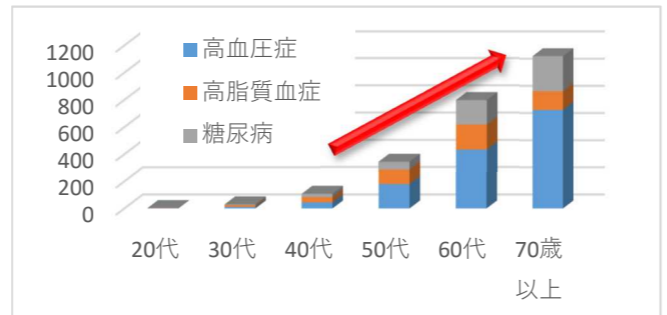
H28年人口動態統計

○生活習慣病による死亡・治療は40代から増加
図1 主な死因別死亡者数 単位:人



H28年度人口動態統計

図2 主な疾患の治療者数 単位:人



H29年度生活習慣に関するアンケート調査

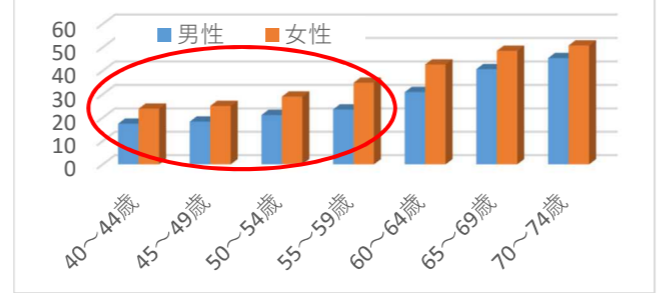
○働く世代の生活習慣
 ・朝食をほぼ毎日とる者 ⇒男女とも20代で低い
 ・バランスの良い食事をほぼ毎日とる者 ⇒男性20～30代、女性20代で低い
 ・野菜摂取量 ⇒男性30～50代、女性20～40代で少ない
 ・日常生活の歩数 ⇒70代に次いで、男性30代、女性50代で少ない
 ・運動習慣がある者 ⇒男女とも20～50代で少ない
 ・睡眠による休養 ⇒就労時間が長いほど休養がとれていない
 H29年3月健康ちば21（第2次）中間評価報告書

○特定健診受診率が40～50代で低く、60代から増加
表2 特定健診受診率（H27年度） 単位:%

全体	市町村国保	全国健康保険協会	組合健保・共済等
52.9	36.3	45.6	71.9

厚生労働省医療費適正化計画のため提供された数値

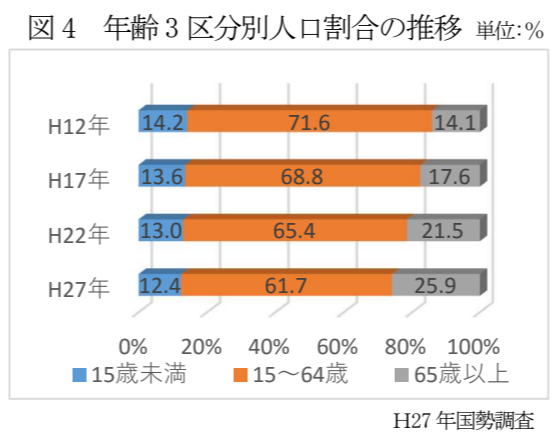
図3 特定健診受診率（国保） 単位:%



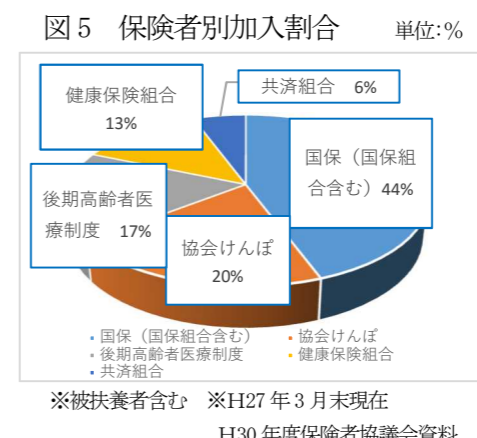
H27年度特定健診・特定保健指導に係るデータ分析事業

働く世代の実態

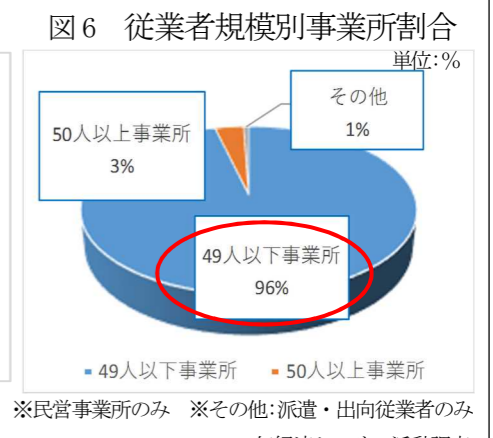
○生産年齢人口の減少
図4 年齢3区分別人口割合の推移 単位:%



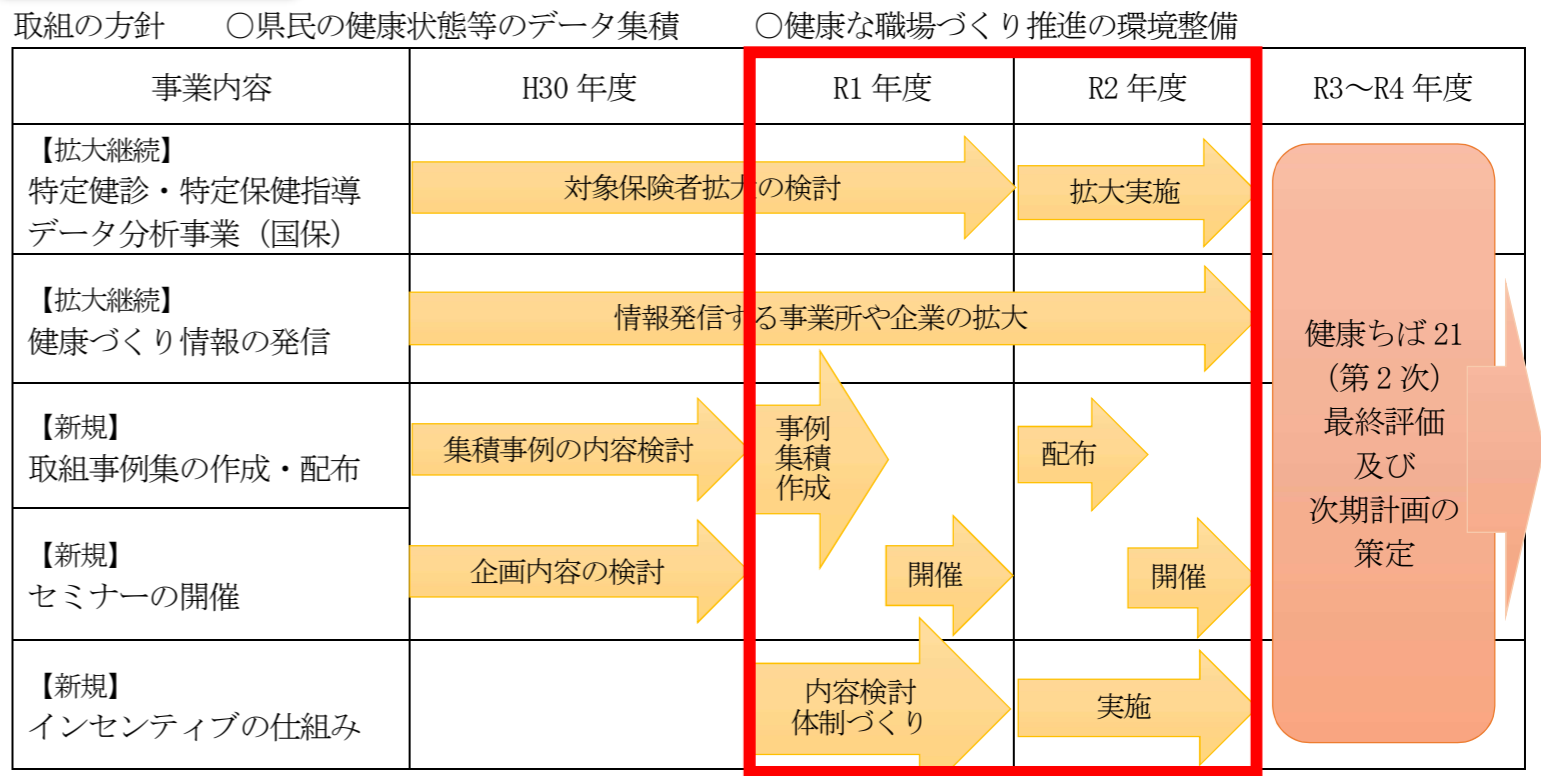
○保険者別加入割合
図5 保険者別加入割合 単位:%



○49人以下の事業所が96%
図6 従業員規模別事業所割合 単位:%



事業計画



○評価指標
健康ちば21（第2次）の各指標、特定健診・特定保健指導データ、健康な職場づくり宣言事業所数（協会けんぽ）、健康経営優良法人認定数（経済産業省）等

期待される効果

